

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」下野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	②	職員の配置数は適切である		3		現在、調整中。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		3	バリアフリー化ではないが活動空間パーテーションで区切り他児の視線が気にならないよう工夫している。	教室での支援入れ替えがスムーズに出来るように案内を行う。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		毎日の消毒、室内清掃、トイレ、外掃除を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3		個別の情報共有、定期的に担当者会議を開いている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			今回の結果をもとに今後の業務改善を行ってきたい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3		今年度より結果を公表
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		県による実地指導を実施。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		外部研修会、事業所内研修に参加している。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2	1	アセスメントを元に支援計画を立て計画書の作成を行っている。	内容をきちんと把握し、ニーズに合わせて内容を作成する。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3		児童支援計画に沿って支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		課題の達成状況に合わせて立案を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		課題の確認を行い共有し進めている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1	2	保護者のニーズに合わせて支援内容の見直しと計画を行っている。	他事業所と連携を図り、情報共有をより強化していく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		個別に課題についての振り返りを行い、次回支援に役立てている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		支援後の振り返りを行い、情報共有を行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		支援後に記録を記入	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3		6か月単位で実施。		
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児発管が会議に参画。後、情報共有を行う。	全員の実施は行っていない。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	必要に応じて連携している。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	全ての児童ではないが幼稚園、発達支援センターと連携を図り取り組んでいる。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	就学移行支援として小学校に声掛けをし、保護者と学校との連携を図っていく予定。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		他事業所との連携。こども発達支援センター支援事業所との連携を図ったり、研修に参加している。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3	幼稚園との交流は行っていないがイベント等で機会があったら企画を行うって行く。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	1	保護者に対し支援は行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	2	契約の際に説明を行っている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3		契約の際に個別支援計画を示し内容説明を行っている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		フィードバックに支援内容と保護者からの子育ての悩みを聞きご家庭との連携を行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		事業所内でのイベントに参加してもらっている。	保護者の会を開催し情報共有の場を提供出来たらよい。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3		契約時に苦情相談受付窓口を伝え、事業所に質問、相談をしてもらうよう周知している。	教室内の相談窓口を設ける一方、市の相談窓口等の案内を行う。

	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		ブログで活動の様子をご報告。	
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意している	3		鍵付きのロッカーで保管している。	
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		家族と連携を取り意思疎通を重視した支援を行っている。	
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	地域の部会等参加は行っていない。	
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		防犯マニュアルでの確認済み	今後発生を想定した訓練を行っていく予定。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		月1で行っている。	
	㉖	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		事前に調査済み	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		アセスメントで聞き取りを行い事前に把握している。	
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		事例を作成し共有している。	
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		事例検討会や研修で確認を行う。	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2	契約時に虐待防止についての説明を行っている。	教室での情報共有をし話し合いを行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」下野校 保護者等数（児童数）：16名 回収数：14名

割合：88%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	6			もう少し体が動かせるスペースがあるとありがたい。	限られたスペースでの活動になるため工夫し満足してもらえる内容を考える。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2			飽きやすく苦手なものから逃げやすい性格だがとても集中している。	活動内容が固定化しないよう工夫し、情報共有しながら支援を行っていく。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1	4	4		・イベントで他の子と交流できてよい。 ・交流をもっと増やしてほしい。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1				

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	1				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	3	1	2		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13		1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4	1	3		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2		1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	1				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	4	1		近くに避難所があり安心。	定期的に場所の確認を行う。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4	1	3	訓練日に来ていない。	通常午前中に訓練を行っている為、時間を見直す。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1			先生と楽しく過ごせている。 ・楽しく通えている。	楽しく、安心して過ごしてもらえるよう工夫を凝らし進める。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	1	1		フィードバックが毎回しっかりあり、分かりやすく満足している。 他事業所と連携を取ってほしい。	フィードバックで内容を分かりやすく伝えるよう継続して行う。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。